令和７年度　環境保全報告書

令和８年６月

川崎重工業株式会社　神戸本社

1. 2025 年度の重点取組目標・計画の実施状況

① 電力使用量の削減: LED 照明の更新や照明の不要時の消灯等を行い、電力使用量は 273 千 kWh、原単位は 0.41 千 kWh/人となり、目標である原単位前年度以下を達成しました。※

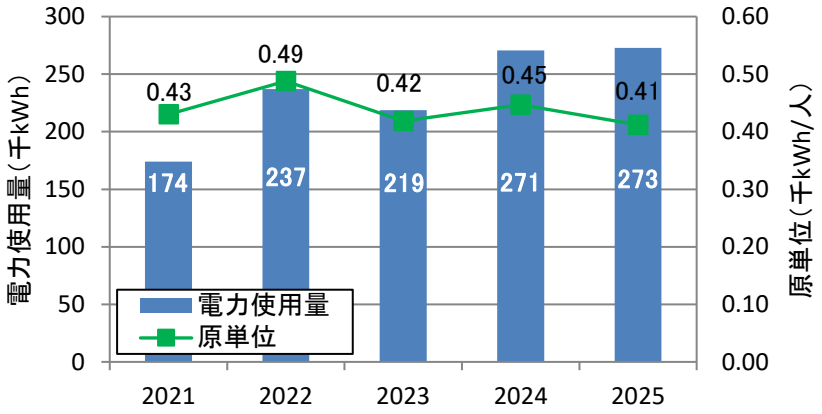


図 1. 電力使用量と原単位の推移

② 紙使用量の削減:適正なプリント出力・裏紙使用・両面印刷の推進、ペーパレス会議の実施、決裁の電子化、部署ごと使用量の見える化、リモートワーク普及に伴う仕事の進め方の変化等により、紙使用量および原単位が減少し、目標の原単位毎年 1%削減を達成しました。※

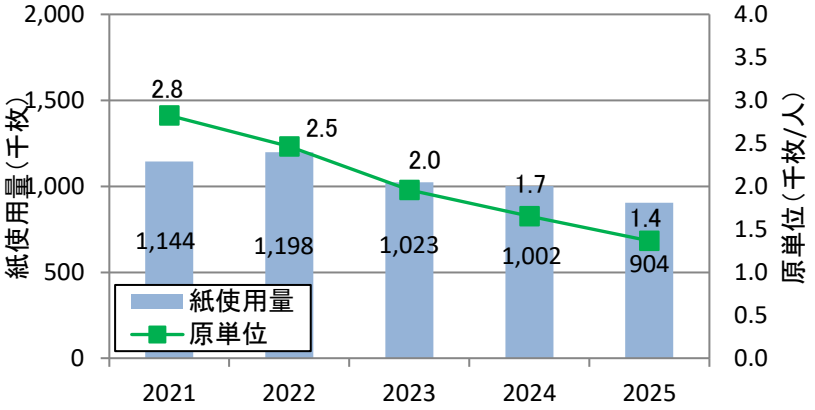


図 2. 紙使用量と原単位の推移

③ 廃棄物量の削減:分別廃棄の徹底及び、リサイクルを推進する対策を行いました。前年度に比べ、原単位が減少しました。従業員の廃棄物に対する意識が向上しているものと考えます。※

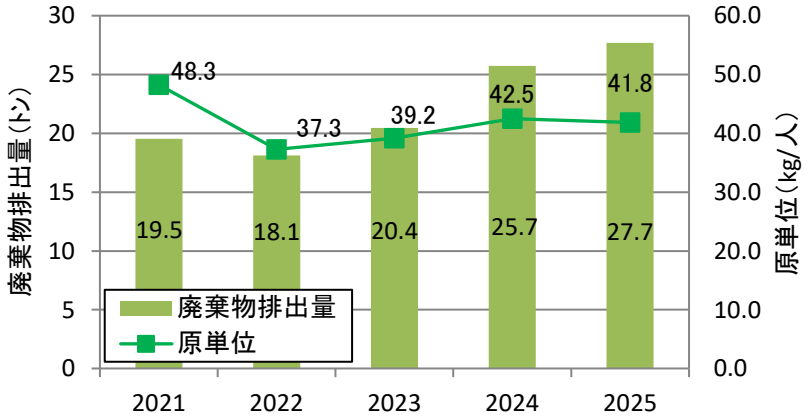


図 3. 廃棄物量と原単位の推移

※既報の 2024 年度実績データに一部誤りがあったため、今年度報告資料から修正しています。

2. 地球温暖化対策に係る計画

当社は、「Kawasaki 地球環境ビジョン 2050」、「グループビジョン 2030」を策定し、2030 年におけるカーボンニュートラルおよび 2050 年における廃棄物や有害化学物質排出のゼロ化など、従来の環境保全に関する基本方針よりもハードルの高い目標を設定しました。このうち 2030 年におけるカーボンニュートラルは政府目標よりも 20 年前倒しとする野心的な目標であり、この実現を目指し全社を挙げて水素自家発電による電力供給、省エネ、再エネ導入、自社保有小売電気事業者からのクリーン電力購入などを実施します。

企業グループとしては、既設工場屋根を最大限活用した太陽光発電の導入を進めながら、水素ガスタービン・ガスエンジンの開発、普及を進めています。

神戸本社では、各事業部門の省エネに対する助言や指導を行うとともに、オフィスにおける省エネとして節電活動を実施します。主な対策および CO_2 排出量と原単位の推移は以下の通りです。一人当たりの電力使用量（原単位）は、コロナ禍以降は減少傾向であり、省エネ活動の成果が表れています。

・朝の清掃時の節電活動
・パソコン・コピー機など電子機器の節電設定の徹底
・通路や予備座席等における不要電源の消灯
・トイレの未使用時の消灯
・昼休みの一斉消灯
・定時退場日の徹底
・定時後の部分消灯の徹底
・エレベーターホールの光量調整
・節電ポスターの表示による意識啓発
・離席時、パソコンのディスプレイ電源 OFF

表 1. CO_2 排出量と原単位等の推移

項目	単位	2021	2022	2023	2024	2025	目標
電力使用量	千 kWh	174	237	219	271	273	219
排出係数	t-CO_2/千 kWh	0.351 / 0	0/0.311	0.434	0.419	0.415	
CO_2 排出量	トン	18	56	95	113	113	
人数	人	405	486	522	606	662	522
原単位	千 kWh/人	0.43	0.49	0.42	0.45	0.41	0.42

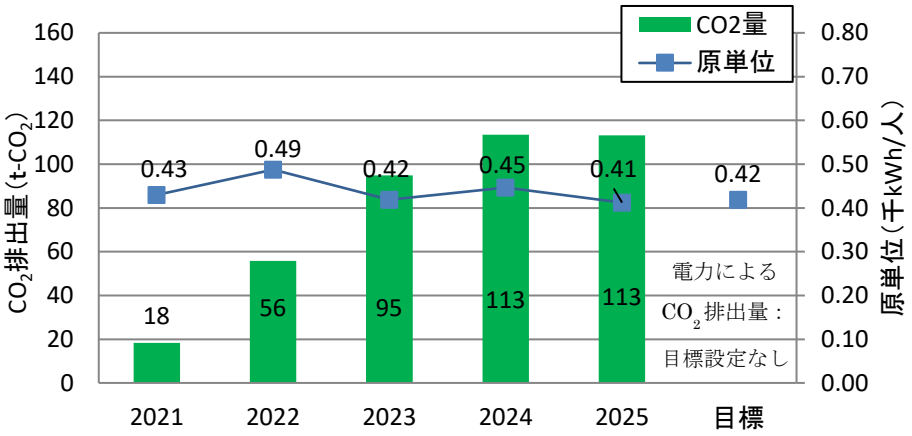


図 4. CO_2 排出量と原単位の推移

3. その他の活動報告

全社の廃プラスチック排出量の集計、神戸本社ビル事務用品のリサイクル活動、神戸本社ビル周辺の清掃活動、兵庫県多可町と小野市における企業の森づくり活動、鹿肉（ジビエ）弁当の社内提供、クールビズ＆ウォームビズ活動、神戸環境マネジメントシステム（KEMS）の認証取得※を実施しています。

※認証取得の証票として KEMS 登録証を添付します。

KEMS

神戸環境マネジメントシステム

登録証

川崎重工業株式会社 神戸本社

神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号

KOBE ENVIRONMENTAL MANAGEMENT SYSTEM
KEMS
神戸環境マネジメントシステム
ステップ1登録

KES
KES・環境マネジメントシステム・スタンダード
ステップ1登録

登録範囲　上記登録組織全域における本社業務の全ての事業活動

登録番号 KEMS1-0071　　KES1-4-0071

登録日 2005年3月24日　　有効期限　2029年3月23日

貴組織はKEMSステップ1の環境マネジメントシステム審査の結果
上記の範囲において規格に適合していることを証します

2026年3月25日

こうべ環境フォーラム
代表 仁連孝昭

こうべ環境フォーラム代表之印